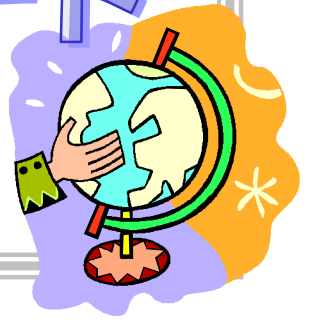


明石市

# 国際協力海外レポート

堺 友佳子（さかい ゆかこ）【JICA 青年海外協力隊】

赴任地：コロンビア共和国 ボゴタ市  
職種：家政  
赴任期間：2010年6月～2012年6月（予定）



赴任前に市長を表敬訪問する堺さん

明石市の皆さんこんにちは。  
中南米のコロンビアで青年協力隊として活動している堺友佳子と申します。

今日は皆さんに私の住むコロンビアについて紹介したいと思います。

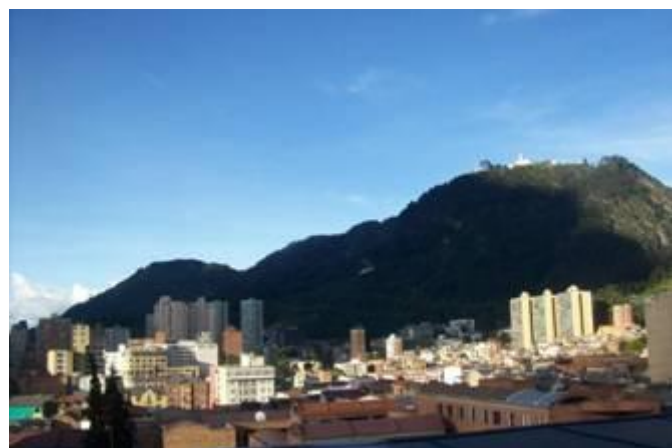
コロンビアと聞くとまず何を思い浮かべるでしょうか。そうコロンビアコーヒーですね。

コロンビアは世界でも有数のコーヒー生産量を誇っており、ブラジル、ベトナムに続いて世界3位！

もちろんコロンビア人はコーヒーが大好きです。朝食に、11時のおやつと一緒に、午後のひとときに、夕食に・・・といつもどこかでおいしいコーヒーの香りがします。

そんなコーヒー大国コロンビアですが、実は日本の方が年間コーヒー消費量が多いんです。日本の方が人口が3倍ほど多いからでしょうか。そして日本は世界第3位のコーヒー消費国！というわけでコロンビアにとって日本は大事なコーヒー輸出国、お客様なのです。

どうでしょう？コロンビアと聞いてもなんだかピンとこない、遠い存在のような気がしますが、実はみなさんが今日飲んでいるコーヒーもコロンビア産かもしれません。



私の暮す任地、首都ボゴタは標高 2600m の大盆地に開けた大都市！赤道に近いですが、常秋と言われ、一年中ひんやりしているのです。

一言にコロンビアといっても、都市と山村の田舎町とでは随分差があります。私の住む首都ボゴタでは高層ビルが建ち並び、情報はなんでもインターネットで手に入り、人々は最新の携帯電話を使っています。本当にいわゆる青年海外協力隊が活動する途上国なのかと一見思いますが、町をよく観察すると浮浪者や乳飲み子を抱えた国内難民が路上で生活し、雨が降るとすぐ道路が川のように水で溢れ、道路や信号不整備のため発生する交通渋滞で常に住民は悩まされ、スリや強盗、ひったくりが町を横行する危険な治安・・・やはりここは途上国なんだと実感せざるを得ません。

しかしそんな大都会でありながらも、ここボゴタの人々は人と人との繋がりを大事にしています。人の温かみを忘れてたりしていません。

出会う全てのコロンビア人にこう聞かれます、「コロンビアは好きか？満足してるか？」と。私はいつも迷いなくこう答えます。「もちろんだよ。最高だよ！」

自分の国を愛してやまないコロンビア国民。そして異邦人であっても温かく迎え入れて共有してくれる人々。私もこの国が大好きです。これからの活動や生活を通して、もっと深くこの国や人々を知って関っていきたいです。



コロンビアは今年ちょうど独立 200 周年！！  
独立記念日に軍隊のパレードがありました。



コロンビア国旗Tシャツでパレードを見学する親子



コロンビア人はとってもダンスが上手！  
それもそのはず、こんな小さなときから  
伝統ダンスを習います。男の子はちゃんと女の子をリードしてあげます。